

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第46週の発生動向

全数報告の感染症 (46週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 4 例。
- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	結核性脊椎炎	腰痛
		都城	80歳代	女	左結核性胸膜炎	症状無し
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、咳、痰
		都城	30歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
		都城	60歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
		小林	50歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	ウイルス性肝炎	日向	30歳代	男	サイトメガロウイルス	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、肝脾腫、頸部リンパ節腫大
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	肺炎 菌種: <i>Enterobacter cloacae</i>
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	AIDS	ニューモシステイ肺炎、食道カンジダ症 指標疾患: ニューモシステイ肺炎、カンジダ症
	梅毒	宮崎市	60歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 826 人 (定点当たり 25.0) で、前週比 115% と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎とインフルエンザで、減少した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

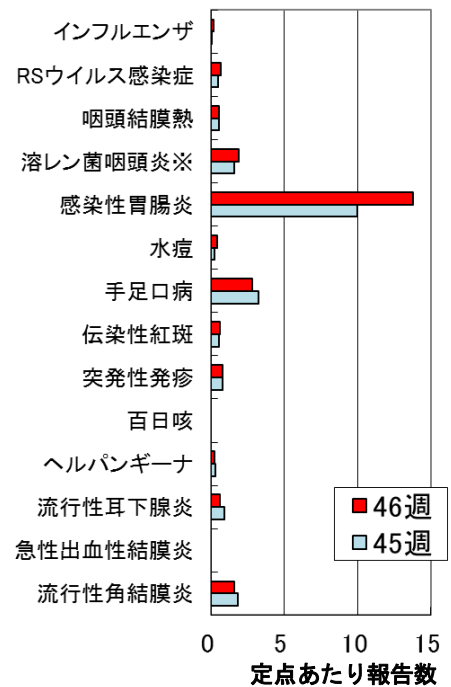
報告数は 496 人 (13.8) で、前週比 138% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (13.7) の約 1.0 倍であった。小林(29.7)、中央(19.0)、宮崎市 (17.2) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~4 歳が全体の約半数を占めた

【手足口病】

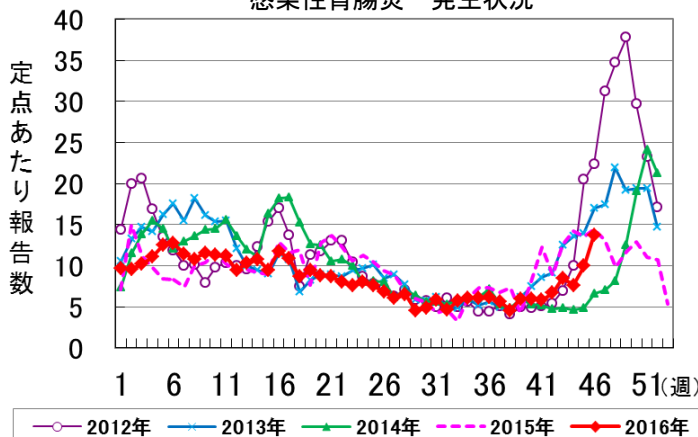
報告数は 101 人 (2.8) で、前週比 86% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.4) の約 2.0 倍であった。日南(9.0)、中央(8.0)、延岡(3.0)保健所からの報告が多く、年齢別は 1~2 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

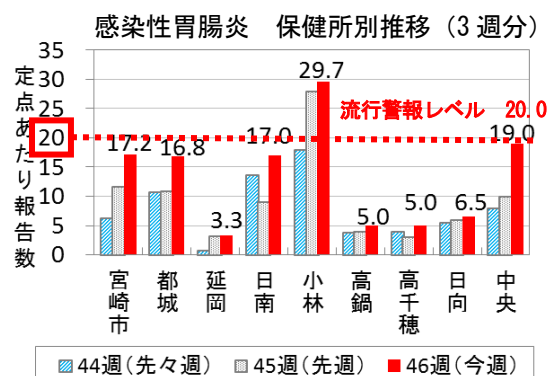
《前週との比較》

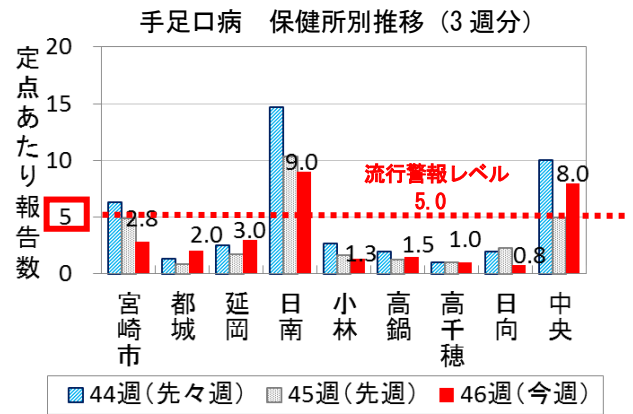
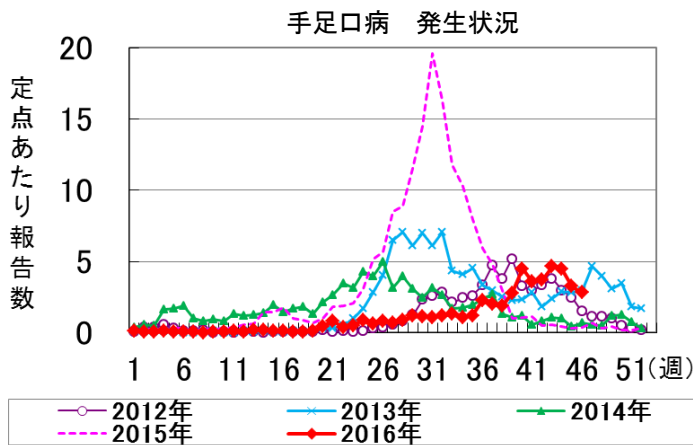


感染性胃腸炎 発生状況



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎





★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(4例)、高鍋(2例)、日向(1例)保健所から報告があった。0～4歳が4例、5～9歳が2例、10歳代が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	手足口病(9.0)
小林	感染性胃腸炎(29.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(8.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成 28 年 11 月 21 日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10歳代	男	2016.10.31	発熱(37.8℃)、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2016.11.14
<i>Salmonella</i> Singapore (O7:k:e,n,x)	10歳代	女	2016.11.1	水様性下痢	便	2016.11.10
<i>Salmonella</i> Oranienburg (O7:m,t:-)	10歳代	女	2016.11.5	下痢、発熱	便	2016.11.11
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	0～4歳	女	2016.11.4	-	便	2016.11.10
EPEC(O157:H7)	0～4歳	男	2016.11.5	-	便	2016.11.16
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	30歳代	男	2016.11.8	-	便	2016.11.16
<i>Salmonella</i> Newport(O8(O6):e,h:1,2)	80歳代	女	2016.11.11	-	便	2016.11.16

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
パラインフルエンザウイルス3型	0～4歳	男	2016.8.9	ク룹、38.0℃、上気道炎(咽頭炎)	咽頭ぬぐい液	2016.11.17
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2016.9.29	痲れん重積後脳症疑い、突発疹、40.4℃、熱性痲れん解熱後発疹(紅斑)、脳症疑い	血清	2016.11.15
ムンプスウイルス	5～9歳	男	2016.10.4	流行性耳下腺炎、37.4℃、リンパ節腫脹(耳下腺炎)	咽頭ぬぐい液	2016.11.14
パレコウイルス1型	0～4歳	男	2016.10.8	急性脳症、39.0℃、意識障害、脳症	便	2016.11.18
エコーウイルス6型	0～4歳	男	2016.10.11	急性気管支炎、発熱、上気道炎、下気道炎(CRP:5.8)	便	2016.11.11
パルボウイルスB19	5～9歳	男	2016.10.13	不明の発疹症(りんご病疑い)、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2016.11.15
インフルエンザウイルスAH3	20歳代	男	2016.11.4	A型インフルエンザ、39.8℃、関節痛、筋肉痛、上気道炎(咽頭炎)	咽頭ぬぐい液	2016.11.8
ライノウイルス	0～4歳	女	2016.11.2	RSウイルス肺炎、百日咳疑い、39.0℃、下気道炎(肺炎)、リンパ節腫脹	咽頭ぬぐい液	2016.11.17
ライノウイルス	10歳代	女	2016.11.11	ギランバレー症候群疑い、麻痺、下肢筋力低下	咽頭ぬぐい液	2016.11.17

○今シーズン当所では初めて、A型インフルエンザと診断された成人からインフルエンザウイルスAH3が検出された。全国のインフルエンザウイルス分離、検出状況をみると、AH3の割合が最も多く、ついでAH1pdm09、B型となっている。今後、本格的にインフルエンザシーズンへと突入するため、発生動向に注意が必要である。

○急性脳症の乳児からパレコウイルス1型が検出された。パレコウイルスは呼吸器症状や胃腸炎など比較的軽い症状の場合が多いが、脳炎や心筋炎といった重篤な症状を起こすこともあるため注意が必要である。

🇯🇵 全国 2016 年第 45 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 45 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	341 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	76 例		
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	2 例	オウム病	1 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	34 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	5 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	28 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	47 例	水痘（入院例）	4 例	梅毒	66 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例	風しん	4 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 124%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 4,133 人(0.84)で前週比 142%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.15)の約 5.6 倍であった。沖縄県(8.0)、栃木県(2.9)、北海道、福井県(1.9)からの報告が多く、年齢別では9歳以下が全体の約4割を占めた。 * 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2016年 第46週(11月14日～11月20日)

疾病名		第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	11	4	1	2		2	1			1
	定点あたり	0.03	0.19	0.25	0.10	0.29	0.00	0.40	0.17	0.00	0.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	17	24	2	9	2		3	1	1	3	3
	定点あたり	0.47	0.67	0.20	1.50	0.50	0.00	1.00	0.25	1.00	0.75	3.00
咽頭結膜熱	報告数	20	18	8	1	1	6					2
	定点あたり	0.56	0.50	0.80	0.17	0.25	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	56	67	24	9	8	5	2	10	2	3	4
	定点あたり	1.56	1.86	2.40	1.50	2.00	1.67	0.67	2.50	2.00	0.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	359	496	172	101	13	51	89	20	5	26	19
	定点あたり	9.97	13.78	17.20	16.83	3.25	17.00	29.67	5.00	5.00	6.50	19.00
水痘	報告数	9	14	3	3	1			5		2	
	定点あたり	0.25	0.39	0.30	0.50	0.25	0.00	0.00	1.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	117	101	28	12	12	27	4	6	1	3	8
	定点あたり	3.25	2.81	2.80	2.00	3.00	9.00	1.33	1.50	1.00	0.75	8.00
伝染性紅斑	報告数	18	22	7	2	2	2	1	2		5	1
	定点あたり	0.50	0.61	0.70	0.33	0.50	0.67	0.33	0.50	0.00	1.25	1.00
突発性発しん	報告数	28	27	10	4	3	2		1		5	2
	定点あたり	0.78	0.75	1.00	0.67	0.75	0.67	0.00	0.25	0.00	1.25	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	9	2	3	2	1					1
	定点あたり	0.31	0.25	0.20	0.50	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	32	22	5	4	2		4	5	1	1	
	定点あたり	0.89	0.61	0.50	0.67	0.50	0.00	1.33	1.25	1.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	8	8								
	定点あたり	1.80	1.60	4.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	10	7	4					2		1	
	定点あたり	1.43	1.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～46週)

2類感染症	結核	185例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	23例(4)	デング熱	1例
	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13例	ウイルス性肝炎	5例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9例(1)
	急性脳炎	10例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	6例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	7例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	9例(1)	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	2例	風しん	1例		

()内は今週届出分、再掲